

自主規制で安全防除

「農薬による〇〇事故……」，こんな記事が新聞などにとりあげられるときほど，仕事のうでで農薬に係わり合いをもち，常に安全防除に気を配っている者にとって暗い気持ちにさせられることはない。

もしも農薬なかりせば……農家は，炎天下の田畑での草取りの苦しみ，ドロにまみれて育てあげた作物が，虫や病気に侵害され，実ることなく終わる惨めさから解放されることはできなかったであろう。つまり，農薬は今日の農業にとって欠かすことのできない重要な生産資材であることは確かである。だからといって，農薬事故をたとえ僅かな例といえども，見過すことはできない。なんとしても，事故は絶滅するよう努力を重ねなくてはならない。

私どもの農協組織は，防除指導の基本を，農薬のマイナス面を最少限にし，プラス面を最大限に発揮させることにおき，農協の防除指導員を中核に安全防除を推進している。

除草剤については，昨年度，モリネート剤による魚毒事故防止運動に組織をあげて取り組み，自主的に使用地域を制限し，出荷数量を規制する措置をとり，安全使用を徹底することに努めた。その甲斐あって，モリネートによるものと断定される事故は，殆んど発生しなかった。このような組織をあげての安全防除は，われわれにとって大きな自信となった。自主規制をすすめるには，農家や組織の理解が必要であり，そのための説得に苦労した。しかし，このような努力こそが，農薬への悪いイメージを払拭し，農薬の寿命をながらえることに役立つことになる。

農協組織は，行政および試験・研究機関，さ

目 次

(第12巻第7号)

休耕田の管理法と雑草発生について……2

＜東北農業試験場 金 忠男＞

1. 休耕田の管理法……2
2. 雑草発生相……2
3. 管理法と雑草防除……7

北海道における豆類の雑草防除……8

＜北海道十勝農業試験場 小川 武＞

1. 豆類畑の雑草……9
2. 豆類の雑草害……11
3. 豆類畑の雑草防除……12

栽培条件と温州ミカンの品質……15

＜福岡県園芸試験場 栗山隆明＞

はじめに……15

1. 品質に関与する諸要因……15
2. 気象条件と温州ミカンの品質……16
3. 地形と品質……19
4. 土壌条件と品質……21
5. 栽培管理と品質……22

おわりに……25

外国文献抄録……26

植調協会だより……27

らに業界との協力を密にし，「農薬事故ゼロ」へ向けて努力を続けていきたい。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会理事 平川康記〕
〔全国農業協同組合連合会 肥料農業部長〕